

F 課外活動

1. ワークショップ

1. 1 核融合科学研究所施設見学・体験

(1) 研究開発の課題（研究概要）

核融合科学研究所における講義・見学・実験を通して、最新の研究・技術に対する興味関心を育成する。

(2) 研究開発の経緯

実習は3班に分かれて行うため、班分けとリーダーの選出をした。また核融合科学研究所についてのパンフレットを配付し事前学習をさせた。当日研究所に向かうバス車内で、研究所作成DVD「星から来たエネルギー」を見た。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は科学への関心や批判的思考力などの「科学リテラシー」を促すことができる。

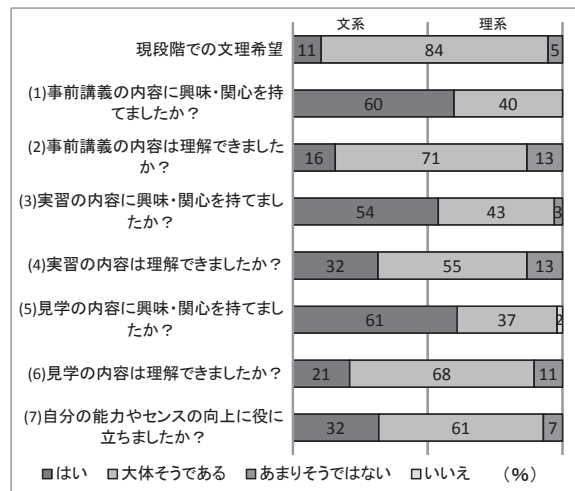
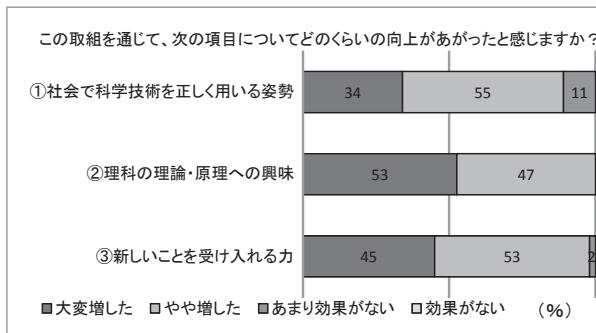
イ 研究の内容・方法

対象生徒 普通科1年生徒 38名
 日時場所 8月7日（木）核融合科学研究所
 実施内容 ワークショップ
 講師 核融合研究所 所員
 内容 事前講義「プラズマ・核融合について」、3班に分かれ施設見学、実験（プラズマと光、プログラミングと可視化、環境放射線測定）、報告会（班の代表による見学、研修の説明）



施設を見学する生徒たち

ウ 検証（成果と反省）



生徒の感想から

- ・講義を受ける前まではプラズマについて何もわからなかったが、今回の講義を通してプラズマがどういうものなのかということが少しわかりました。
- ・とても大きな研究所の中を見せていただいて、とてもおもしろかったです。放射線を見ることができたことや、実験の機械にもすごく感動しました。

アンケートの結果や生徒の感想から、生徒にとって興味・関心が高まったことがわかる。対象生徒が1年生であり、物理分野はまだ学習が進んでいない状況ではあったが、プラズマ・核融合という難しい内容をわかりやすく説明していただいたので興味深く学ぶことができた。各自の将来に有意義な体験をすることができた。